

【1.体制】

2011年に少子高齢化に伴う人口減少と病院収益減の補完を目的として開設、2023年度で13年目を迎えた。

医師6名（センター長含む）、看護師2名（保健師1名含む）、検査技師2名、放射線技師5名、事務4名の体制で健診センターを運営している。

【2.取組内容と実績】

取引先 協会けんぽ・人間ドック学会・市町村共済組合・肥後銀行健康保険組合・熊本銀行健康保険組合・医師国保組合・運輸局・海上保安庁・宇城市（国保・後期高齢・乳がん）・上天草市（国保・後期高齢・乳がん）、京都大学、他

内容 生活習慣病予防健診・集合契約日帰り人間ドック・労働安全衛生法法定健康診断・脳ドック・大腸ドック・乳がんドック・ロコモ健診・特殊健診（有機溶剤）・就職時等健康診断・宇城市ハイリスク健診・子宮頸がん検診・ABC検診・宇城市ピロリ菌検査・風疹抗体価検査、接種・骨密度、体組成検査、他

【3.今後の課題】

現在使用している健診システムは14年目を迎え、システムメーカーより保守サポート終了の通知を受けており、2024年内にリプレースすることが急務となっている。

2024年4月より、生活習慣病予防健診・付加健診の対象年齢が拡大される。特に、眼底検査については遠隔読影サービスの利用を検討している。

